

ごあいさつ

生涯学習は、一人ひとりが様々な機会を通じて自ら学び、見識を高めていくことで、自己を成長させることができるものです。また、人生100年時代を見据え、すべての人のウェルビーイングの実現のためにも、日々の生活に潤いと豊かさをもたらす生涯学習は今後ますます重要になります。



石川県民大学校は、教養・文化・生活・健康など様々な分野において生涯学習の機会を提供しており、平成2年の開校からこれまでに2万人を超える方々が修了されています。

今年度も、多様な学習ニーズに応える学びの機会として、県内の市町、大学、民間教育機関など、112機関のご協力をいただき、700を超える講座を実施します。

さて、昨年元日の能登半島地震、9月の奥能登豪雨と、本県は相次いで未曾有の災害に見舞われました。多くの人命や財産が失われ、県土と暮らし・産業のほか、地域の伝統や文化財も甚大な被害を受けました。

これからの復興のためには、石川の誇る伝統産業や里山里海の食・景観、地域の歴史と文化や有形・無形の文化財などの、ふるさと石川の価値を再認識し、理解を深め、その魅力を国内外に発信していく必要があります。

今年度も「ふるさとモット学び塾」を始めとする講座を通じ、多くの県民の皆様に「ふるさと石川」の歴史や文化への理解を深めていただけるよう努めてまいります。

県民の皆様方が、関心のあるテーマについての学びを深める場として、石川県民大学校の講座をぜひ受講いただき、地域に根差した活動や心豊かで充実した生活に生かしていただきますことを願っております。

令和7年4月

石川県民大学校学長

石川県知事 馳 浩